
パネルセッション ~ Internet 2.0に向けて ~

パネルの目標

- IW初日のIP Meetingや各カンファレンスで議論された結果を総括し、インターネット全体の問題に関して今後の活動の方向性や目標を議論いたします。
- 特に、IP Meetingでのパネルディスカッションも考慮しながら、2007年以降に各分野/各層の関係者が行うべきことのリストアップを目指します。

パネリスト

- IP Meeting (JPNIC)
 - 佐野 晋(JPNIC理事・IP Meeting コーディネータ)
- 法律勉強会 (JAIPA):
 - 甲田 博正(行政法律部会長/NTTコミュニケーションズ)
- DNS DAY (JPNIC):
 - 石田 慶樹(DNSOPS-JP)
- Security Day (JPCERT/CC、JNSA、Telecom-ISAC):
 - やすだなお(NPO日本ネットワークセキュリティ協会主席研究員)
- JPOPM (JPNIC):
 - 藤崎 智宏(ポリシーワーキンググループチェア/NTT情報流通プラットフォーム研究所)
- Web2.0ワークショップ(jus):
 - 法林 浩之(日本UNIXユーザ会)
- インターネットフォーラム プログラム委員
 - 前村 昌紀(JANOG/JPNIC理事)

- モデレータ
 - 近藤邦昭(まほろば工房/JANOG)

(敬称略)

テーマ

- Internet2.0ってなんですか？
 - インターネットって、全ての要素の集合体
 - X-2.0? → Web2.0,DNS2.0,Operation2.0,Security2.0,Policy2.0?
- Internet1.xとの違いってなんですか？
- そもそもインターネットってなんですか？
 - インターネット原理主義
 - これも全ての要素の集合体
 - X-原理主義 → Web原理主義……
- これらを議論し、今後の課題を探る
 - 次のインターネットに必要な
 - セキュリティ、リテラシー、オペレーション、地域格差、要素技術、ガバナンス、不正利用…

2.0のキーワード達

- 登場人物の増加
 - 混乱の時代 → 原点回帰によって整理が必要
- DNS1.0の時代
 - まだまだやることが沢山
- 法律・制度などはまだまだ2.0の入り口
 - 権利・義務関係の整理が課題
- 2.0は方向性を示すキーワード
 - 各要望をまとめて、それを整理する必要がある。
 - リテラシーの向上が必要
- 本質を見る
 - 全体をみながらDetailを見る
 - べき論ではなく、自由に
 - 社会的にできていることをきちんとやる
 - 技術だけでなく、教育などができると、社会的にできることを見据える。
- ガバナンスがのっとられないように
 - 体制面での問題がある。いろいろやっていることをまとめて整理して、それを示していくことが大切
- Anyone to Anyone
 - セキュリティが問題の根本。発展が必要
 - グローバル化
 - 教育を通じて、倫理をかえる。

2.0へ向けた課題の整理

- セキュリティに対する様々な問題の解決
 - 各組織でのセキュリティ対策の検討
- リテラシーの向上
 - 教育と現場の乖離の問題
 - インターネット社会を全体的に捉えた体制が必要
 - 地域コミュニティの活用
 - 慎重な活動が必要
 - インターネットの個と実社会とのマッピングをうまくやっていく必要がある。
 - 道徳教育・モラル
 - 人にかかる迷惑を教える。
- インターネット全体の体制の整理・連携
 - 組織の連携・相互理解・相互協力
 - 役割の整理
 - インターネット全体地図
 - インターネットのグランドデザインが無いのではないか？
- グローバル化
 - 海外諸団体との連携
 - 各国での法律の違いをどう考えるか

- この場のポジションペーパーの作成が必要か？

- これらの課題の明確なところをしっかりとつかんで行動する必要がある。